



2025(令和7)年9月例会ご案内

バス研修 ～篠山城・大書院と春日神社、
歴史美術館を訪ねる～



町バス

日 時 令和7年9月26日(金曜日)

篠山城は、豊臣の大阪城包囲と山陰道の抑えのため、1609年徳川家康の命により15か国20大名による天下普請で作られた。建物は失われているが、国史跡に指定され、大規模な木造大書院が再建されている。春日神社は約1000年前に奈良の春日大社の分霊を祭る。重要文化財の能舞台もよく知られる。また、歴史美術館には、兵庫県下最大級の前方後円墳の出土品が展示され、建物は、日本最古の木造裁判所とされる。古代山陰道の駅が設けられていたところから交通の要衝であり、江戸時代に町の基礎ができた篠山城とその周辺を巡る。

◆コース

平群町役場前駐車場 8:40集合	バス	(トイレ休憩) 西宮名塩SA 10:00～10:15	バス	篠山城址・大書院(見学) 11:00～11:50
徒歩	-----	徒歩	-----	徒歩
特産館ささやま(昼食) 12:00～12:40		春日神社(見学) 12:45～12:55		歴史美術館(見学) 13:00～13:30
バス	-----	バス	近鉄(一次解散) 平群駅 ～15:30頃	バス
(トイレ休憩) 西宮名塩SA 14:15～14:30				平群町役場前駐車場(解散) 15:40頃

◆集合場所・時間：平群町役場前駐車場（8時40分集合/時間厳守）

◆解散場所・時間： // （午後4時ごろ）

☆ 帰着時間は交通事情によって前後します。

◆募集人員：10～28名（町バス定員）

※ 先着順で28名になり次第申し込みを締切ります。会員申し込みを優先します。

※ 申込者10名に満たない場合は中止します。

◆参加費：交通費（参加人数割り）と篠山城／歴史美術館入館料、現地ガイド謝礼、昼食費の合計です。

交通費（高速代+駐車場代+ガイド謝礼3000円）：15,640円、入館料：700円（篠山城大書院+歴史美術館）、昼食代は1,700円。

※例として参加人数を3通り仮定しますと、次のようになります。

参加人数	交通費	入館料	昼食代	合計	集金
28名	@559円	@700円	@1,700円	=@2,959円	2,900円
18名	@869円	@700円	@1,700円	=@3,269円	3,200円
10名	@1,564円	@700円	@1,700円	=@3,964円	3,900円

※当日精算して、バス乗車時に集金します

※当日会員は上記と別途に「当日会費」 ¥500円を頂きます

★★★注意事項★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今回は町バスを利用します。町から、運転手の体調不良などにより当日になって利用不可になる場合があります。と言われております。その場合、電車に変更する予定とし、訪問先が、篠山城と、春日神社の2か所で、平群駅帰着予定が、16時40分ごろとなります。また、参加費は、平群からの電車賃を含め約7,500円になりますのでご用意しておいて下さい。もし、その時に参加取り消しをされる場合は、ランチ代(1,700円)はキャンセルできませんので、お支払いをお願いします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

☆ 雨天決行です

☆下記の通り、申込締切期限までに申込ください

◆参加申込み締め切り：～8月31日（土）

各地区の幹事様を通じて、幹事様不在の方は直接河本(携帯 080-6112-3406/Fax0745-45-2709)まで申込み下さい。各幹事様は9月1日(日)午前中に、河本まで連絡下さい。

◆申込後のキャンセル

9月5日（木）までに出来るだけ早くご連絡下さい。

◆保 険

参加者全員について、団体加入の下記傷害保険と賠償責任保険が適用されます。

傷害保険：死亡・後遺障害 500万円、入院治療日額 5000円(180日限度)、
通院治療日額 3000円(90日限度)

賠償責任保険：身体、財物共通 3億円

※ コロナ等感染症対策

- ・マスク着用をお勧めします
- ・密集回避をお願いします
- ・発熱や体調不良の方は参加をご遠慮ください

8月例会(第45回夏季公開講演会)報告 企画部

8月2日(土) 午後1時30分～3時30分

《平群町総合文化センター(くまがしホール)》

演題：4世紀の倭王権 — 佐紀古墳群と富雄丸山古墳

講師：奈良市教育委員会 学芸員 村瀬 陸 先生

連日の猛暑日予想に、高齢者が多い考古学ファンの来場者数に影響しなければ良いかと心配しながら10時に会場設営に取り掛かる。11頃になるとチラホラと来場者らしき人影が見え始める。12時にはホワイエは行列で満員に。12時半にはくまがしホールを取り巻く長蛇状態になり、役員の中には13時の受付を早める意見も。13時、予定通り受付開始。13時半に開演し、主催者代表して会長挨拶の後、来賓として西脇町長・上田教育長の祝辞を頂いた後、村瀬先生の講演に入り、①「謎の4世紀」とは、②謎の4世紀を動かした「富雄丸山古墳」、③謎の4世紀の鍵を握る「佐紀古墳群」、④謎の4世紀、「倭王権」は何を果たしたかの4つの視点で話をされた。

《講演概要》

『内外共に歴史的記録が少なく具体的な記録も無い「謎の4世紀」は、大和王権が前方後円墳を広げた時期でもある。しかし、大型前方後円墳の多くは陵墓であることやその他の古墳も盗掘などによりその実態が明らかになっていない。』

このような「空白の期間」に築造された富雄丸山古墳(4C後半)から他に例を見





ない蛇行剣や盾形銅鏡が出土し、またこの講演会直前には国内最大級で、時代の異なる3枚の銅鏡の確認が発表されたが、これらの発見はこの空白の期間の謎解きに大きく貢献する。

一方、佐紀古墳群からは、レーザー測量により「佐紀池ノ尻古墳」の全容が明らかになってきており、これもその解明をするための一片になる』

講演の最後には、今回発表された3枚の銅鏡の内の「^{きりゅうもんきょう}虺龍紋鏡」については奈良市と姉妹都市である「サマルカンド市」からも同タイプの青銅鏡が出土していることから、両市はシルクロードで繋がっていたと思われ、2027年に交流展の開催を企画していることが紹介されて講演会を終了した。

村瀬先生を始め、講演会準備と実施に御協力頂いた皆様にお礼申し上げます（河本）
[聴講者数：342名（内会員：30名）]



会 長・西脇町長・上田教育長挨拶







忘れ物の のお知らせ

夏季講演会閉会後に『佐紀古墳群航空航空レーザ測量調査報告書』の販売がありました。購入された方の中に冊子をホワイエの長椅子に置き忘れた方がおられます。心当たりの方は会長（080-6112-3406）まで

今月号より「ふるさとへぐり再発見」を掲載します。

平群町の広報誌「My Town 平群」に掲載された「ふるさとへぐり再発見」は1988(昭和63)年4月から第一回が始まり、平群町関係の文化財について紹介がされました。

その内容は、平群に住んでいながら知っているようで知らないことが数多く掲載されており、今後、そのような記事を抜粋して紹介していきたいと思えます。

……ふるさと平群の「再々発見」です……

※記事の内容は掲載当時のものであり、現在とは異なる場合がありますのでご承知下さい。

※記事の下部に広報誌発行の号数と発行年月を入れています

※ページ建ての関係で掲載できない場合も有ります。

この「ふるさとへぐり再発見」は、バックナンバーが平群町立図書館に架蔵されています(上・下巻)、また、平群町のホームページには①～④が掲載されています。

尚、この掲載に当たっては、平群町教育委員会のご承認と平群町ボランティアガイドの会の協力を得ています。

(企画部・編集部)

① ふるさと へぐり再発見



平群谷の夜明け

平群町は、生駒山地と矢田丘陵の間、竜田川の流域を中心として、古来より、平群谷と呼ばれています。

平群の山は、和歌の枕詞に「たたみこも・八重だたみ」と歌われたように、小さな丘が重なる緑深きところでした。

飛鳥時代には、薬狩(鹿)の

わか角をとる猟(の)場であったように動植物の宝庫でした。

今より数千年前の縄文時代にも狩猟に訪れていた証拠に、石の矢尻がみつかっています。

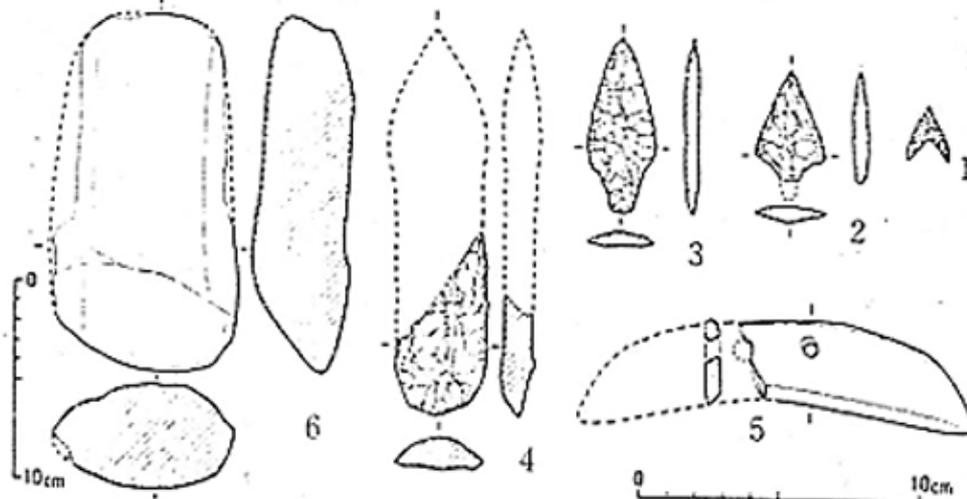
発掘調査が進めば、当時のキャンプ跡が分かるかも知れません。

本格的な平群谷の開発が始まるのは、次の弥生時代(紀元前三世紀〜期限三世紀)になってからです。

弥生時代は前・中・後期に大別されますが、現在のところ前期の遺跡は見つかっていません。

中期に下蔵(南小学校付近)榎原東、廿日山の各遺跡で開発が始まるようです。縄文時代は不安定な狩猟・採集経済ですが弥生時代には米作りが伝わり、生活も安

平群町でみつかった石器



定してきます。しかし、農耕だけでは足りず、狩猟も行っています。

平群町で見つかった、当時

の石器を図にしましたのでご覧下さい。

1は梨本東遺跡の発掘調査で出土した縄文時代の石

鏃です。2、3は廿日山遺跡の発掘調査で見つかったもので弥生時代のもので

2、3は石鏃、4は石槍片5は米の収穫の時、穂刈りした石包丁、6は開墾用の石斧です。鉄や銅も伝わっていましたが、貴重品で一般にはまだ利用されませんでした。

みんなのひろば

私が入会させて頂いて、7年目になります。

当時、20年以上にわたる父母の介護と看取りを終え、ほっとする間もなく脳動脈瘤を発症し、塞栓手術を受けた後でした。

長年、介護と家事に追われ人付き合いも少なく、65歳も過ぎ家事を一切しない夫と2人、平群に馴染んで上手に年をとれるか不安な時でした。引っ越しで来る時には気にならなかった坂道も不安材料になりました。

新入会員の私には、例会の行き先も初めての所が多く、珍しく、名前だけは知っていても、レジュメによる詳しい説明に、新発見やなるほど！へえー。勉強になります。(頭に残らないのが残念ですが)

レジュメのファイルも3冊目となりました。

また、姉妹や娘のいない私にとって、いろいろたわいないお話をしたり、お弁当の時間も楽しみです。

史蹟への入会をきっかけに勇気をもらい、文化協会のクラブにも参加し、公民館教室にもなるべく申し込みをし、参加可の返信葉書を心待ちにしています。

一つの行動をきっかけに自分の世界が広がり、みなさんの話から思いもかけない考え方を知ることがあります。

とはいえ、年とともに白内障、緑内障と発症し、変形性膝関節症で整形外科へと通院と、体はなかなか手強いです。

5月に白内障手術を受け、明るくなった視野で自立した後期高齢者を目指して頑張るつもりです。

毎月の例会の準備等々役員や幹事の皆様に感謝しつつ、これからも参加させて頂きたいと思っています。

ところで、白内障の手術後、視野も明るくなり、視力も良くなったのですが、術前から見えていた飛蚊症の症状が消えません。

先生も気にされていない様子で、AIで調べても時間が経てば消えることもあるし、レーザー治療もあるとの回答。

同じような経験をされた方、対処法ご存じでしたらお教え下さい。

宮崎(ローズタウン若葉台)



01011111 - 17320623

**編集部では会員のみなさんの投稿をお待ちしています
(俳句・川柳・紀行文・日頃の生活など内容を問いません)**

平群史蹟を守る会